

MASADA JACK

取扱説明書

⚠ 警告

製品を使用する前にこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから正しくご使用下さい。

この取扱説明書はいつでも使用できるように大切に保管して下さい。



株式会社 **マサダ製作所**

本社・工場 〒197-0815 東京都あきる野市二宮東2-1-1 TEL042-559-1113 FAX042-559-7334
大阪支店 〒590-0079 大阪府堺市堺区新町3-7 STCビル2F TEL072-227-5820 FAX072-227-5821

ご愛用の皆様へ

このたびは、マサダ油圧ジャッキをお買上げ頂きまして誠に有難うございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用して下さい。取扱説明書の中の注意事項および使用方法等をよく読んでご使用頂きませんと、製品の能力を十分に発揮することができませんのでよく理解した上で、正しくご使用下さい。

お買上げの製品や取扱説明書の内容について、ご質問がある場合は、お買上げ頂きました販売会社迄お問い合わせ下さい。

⚠ 警告

この取扱説明書では「危険」「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は安全作業のために重要な事柄です。人身事故や財物損害防止のための重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してからご使用下さい。

危険……取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。

警告……取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

注意……取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみ発生が想定される場合。

◆製品保証事項

品名
油圧ジャッキ

このたびはマサダ油圧ジャッキをお買上げ頂きまして誠に有難うございます。

本製品に対しては下記の範囲において保証サービス致します。

1. 保証期間はお買上げ後 1年以内と致します。
2. 保証期間内において正常のご使用にもかかわらず生じた製造上の責に帰する故障は無償で修理致します。
3. 保証期間中であっても下記条件に該当する場合は修理に要した費用の実費を申し受けます。
イ. 弊社、特約店およびサービスステーション以外において修理加工を行った場合。
ロ. 製品に改造等を加えこれが原因となった場合。
ハ. 不慮の事故、濫用、誤用が原因となった場合。
4. 本製品の保証は日本国内で使用される場合に限りです。
This warranty is valid only in Japan.

このジャッキは J I S または社内検査規格に合格しております。

⚠ 危険・警告事項

危険・警告事項を怠りますと、重量物の落下や人身事故につながる恐れがありますので、必ずよく理解した上で正しくご使用下さい。

	危険
	ジャッキアップ状態で重量物(車等)の下での作業は厳禁 * 死亡または重傷の危険性があります。
	警告 取扱説明書をよく読み、よく理解してから使用すること * 重要な警告事項が説明されています。警告事項に従ってください。重大な事故につながります。
	傾斜地や軟弱な場所での使用禁止 * 傾斜地や軟弱な場所で使用すると、ジャッキが傾き、受金部がすべり、重量物の落下による重大な被害が発生します。

⚠ 使用上の注意

1. 使用前にはその都度ジャッキを点検して下さい。損傷したジャッキや改造ジャッキ、調子の悪いジャッキは使わないで下さい。
2. このジャッキの呼び荷重を超えた荷重では使用しないで下さい。
3. ジャッキは平坦で堅い場所に置いてご使用下さい。
4. ハンドルの上下操作によりラムが伸び始めたら、重量物の荷重がジャッキ受金部の中心に垂直にかかる様にして下さい。
5. 重量物は必要以上高く上げないで下さい。
6. ジャッキを上げたまま重量物を保持する場合は安全上、安定性の良い適切な保持台で支えて下さい。
7. ジャッキだけで支えている重量物の下には絶対に入らないで下さい。
8. 保持している重量物には力を加えないで下さい。
9. ハンドルを使用しない時はジャッキ本体から抜いて下さい。また仕様で決められたハンドル以外は絶対に使用しないで下さい。
10. ジャッキのラムを下げる場合は 1～2 度上昇方向にポンプ操作を行った後、リリースシステム (H 抜弁) を 1～2 回転反時計回りにゆっくり回して下げて下さい。
11. ジャッキ使用后、ジャッキのラムは最縮長状態にして下さい。伸ばした状態ではラムにキズをつけることがあります。
12. ジャッキは外気温 -20℃～+70℃ の範囲でご使用下さい。

◆取扱い方法

●ジャッキを上げる時

1. リリースシステムにハンドル先端 (U 切欠き部) を差込み、時計回りに回して確実にバルブを閉じて下さい。(バルブを締め過ぎると故障の原因となりますので締め過ぎないように注意して下さい)
2. ハンドル接手にハンドルを差込み、ポンプを上下方向に作動させて下さい。

●ジャッキを下げる時

⚠ 注意

リリースシステムはゆっくり回して下さい。早く回すと重量物は急激に下降しジャッキポイントが外れたり、またジャッキが破損する場合があります。重大な事故につながります。

1. リリースシステムにハンドル先端 (U 切欠き部) を差込み、反時計回りにゆっくり回してバルブを開けて下さい。(2 回転以上は回さないで下さい)
2. 荷重が加わっていない時は、ラムは自重で降下しませんので、手で押すか、あるいは適当な荷重を加えて下げて下さい。

⚠ 自動車用として使用する場合の注意

1. 車輛に付属されている取扱説明書をよく読んでジャックをご使用下さい。
2. 車の車種および重量に適したジャッキをご使用ください。
3. 駐車ブレーキをかけて下さい。
4. オートマチック車の場合は、「P」に、マニュアル車の場合は、「ロー」または、「バック」にギヤを入れて下さい。
5. 交換するタイヤの反対側の前後車輪に車止めをかって下さい。
6. ジャッキアップの際、車の決められた位置にジャッキの受金部の中心が垂直に当たるようにして下さい。
7. ジャッキアップは必要以上高くしないで下さい。
8. ジャッキ使用中は絶対に車の下に入らないで下さい。車の下に入る場合は必ずリジッドラック等の保持台で車を保持して下さい。
9. ジャッキ使用中は車には力を加えないで下さい。

3. 作業が終了したらジャッキに付着したゴミ、オイル等をきれいにふき取って下さい。ジャッキはラム、補助ネジを最低まで降ろして所定の場所へ保管して下さい。

⚠ 注意

ラベルが汚れて見えなくなったり、ジャッキ本体に異常が発見された場合、直ちに販売会社に相談して下さい。

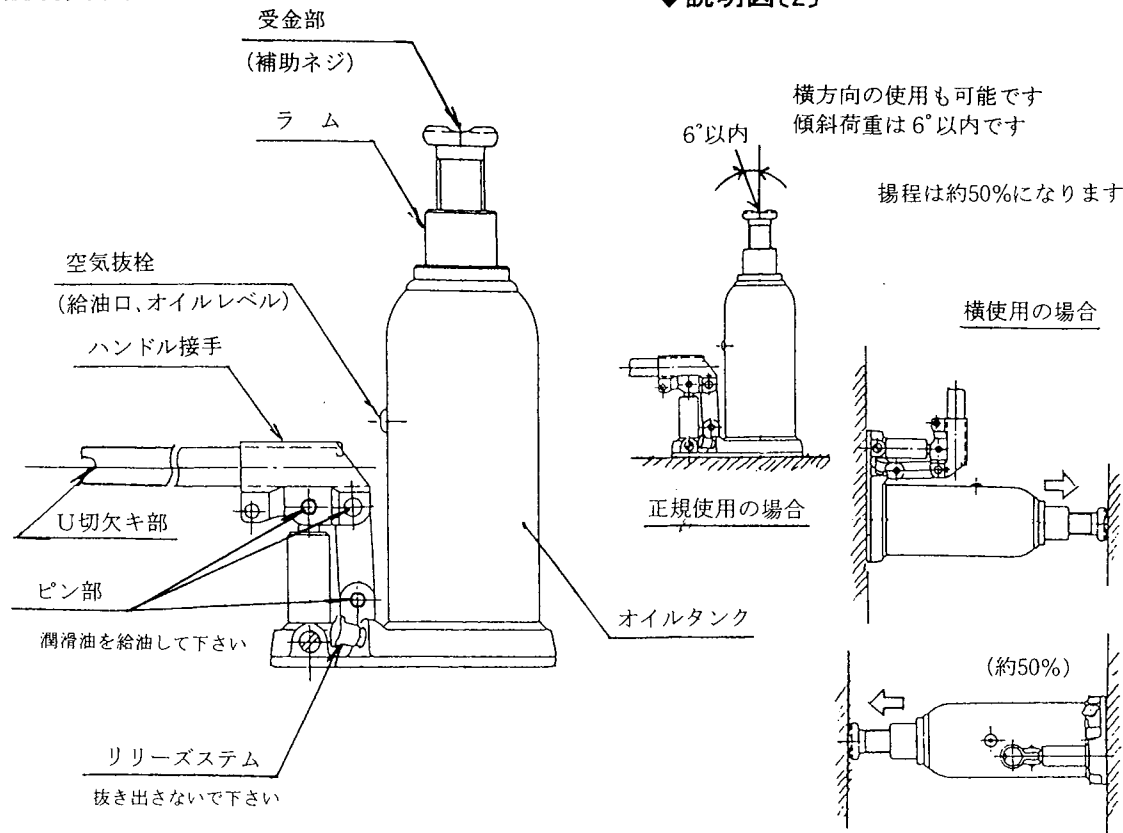
●給油する時

1. ラムを最低まで押し下げてください。
2. 空気抜栓を指で外し、指定のジャッキオイルまたは一般油圧作動油 (ISO VG10~32) をジャッキを立てた状態で給油口まで入れて下さい。
3. 給油が終わったら空気抜栓を取りつけ、ポンプを作動させ、ラムを最高まで伸ばし、更に 5～6 回ポンプ作動を繰り返して下さい。その後、ラムを最低まで下げ空気抜栓を横に押して空気を抜いて下さい。(空気抜き作業)

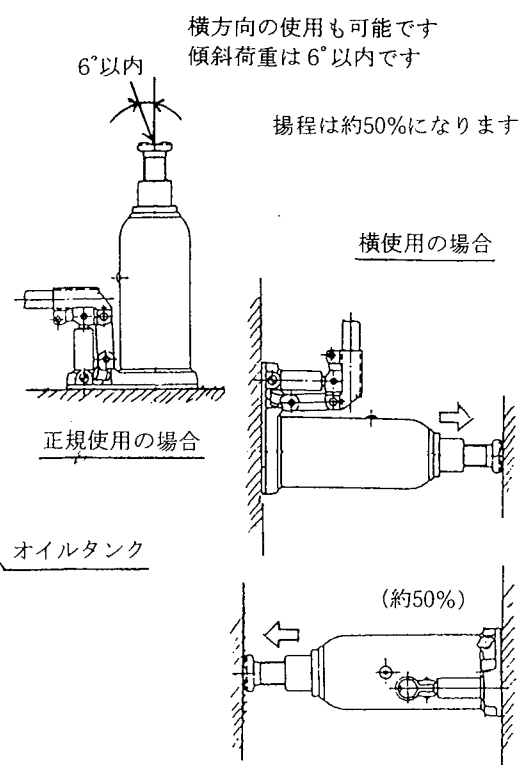
⚠ 注意

給油の際、ゴミ等が混入しない様注意して下さい。なお、ブレーキオイルまたは植物性オイルは絶対に使用しないで下さい。作動不良の原因となります。

◆説明図[1]



◆説明図[2]



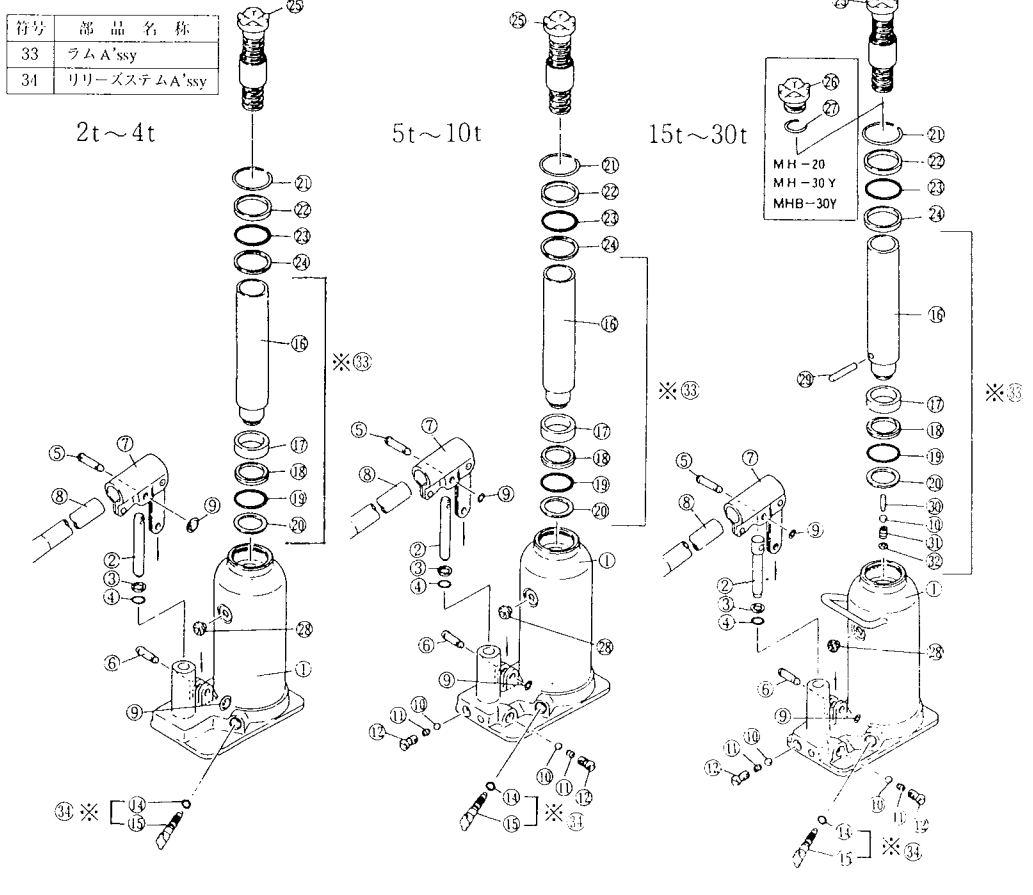
◆マサダジャッキには下表の各製品が御座います。用途に合わせて御愛用願います。
また、下表以外にも各種ジャッキが御座いますので、お問い合わせください。

《仕様表》

型 式	呼び荷重 (ton)	最低高さ (mm)	油圧揚程 (mm)	ねじ伸長 (mm)	最高高さ (mm)	受金寸法 (mm)	ベッド寸法 (mm)	ハンドル寸法 (mm)	操作力 (kgf)	操作回数 (回)	総質量 (kg)	油 量 (cc)
標	EA993BJ-2 MS-2	2	180	115	50	345	∅25 65*110	∅19.1*330	39	30	2.5	72
	EA993BJ-3 MS-3	3	190	115	60	365	29*30 72*115	∅19.1*440	27	46	3.0	94
	EA993BJ-4 MN-4	4	190	115	70	375	∅34 76*131	∅21.7*490	27	61	4.0	140
	EA993BJ-5 MH-5	5	200	120	70	390	35*36.5 82*142	∅21.7*490	28	75	4.6	170
	EA993BJ-10 MH-7	7	200	120	70	390	38*40 90*151	∅21.7*600	30	86	5.5	212
準	EA993BJ-10 MH-10	10	240	150	80	470	45*47 106*166	∅21.7*600	31	127	8.1	363
	MH-15	15	265	165	80	510	51*53 118*180	∅21.7*600	31	208	10.6	552
	MH-20	20	270	160	—	430	∅52 128*182	∅27.2*730	36	127	11.9	487
	MH-30Y	30	280	160	—	440	∅61 142*192	∅27.2*800	36	185	18.9	670
	低 型	EA993BJ-2S MS-2S	2	150	85	50	285	∅25 65*110	∅19.1*330	39	22	2.2
MHB-10		10	170	95	75	340	45*47 106*166	∅21.7*600	31	81	6.7	243
MHB-15		15	170	90	70	330	51*53 118*180	∅21.7*600	31	113	8.2	305
MHB-20		20	180	85	40	305	56.5*58 128*182	∅27.2*730	36	66	10.5	281
MHB-30Y		30	180	80	—	260	∅61 142*192	∅27.2*800	36	93	13.7	362

◆構成部品表 (※印の部品はセットで供給致します)

符号	部 品 名 称
1	ボディ Ass'y
2	ポンププランジャー
3	ポンプバックアップリング
4	ポンプ O-リング
5	ポンププランジャーピン
6	ポンプスティピン
7	ハンドル接手
8	ハンドル
9	ピン止めリング / プッシュナット
10	バルブホル
11	バルブスプリング
12	バルブプラグ
13	—
14	リリースパッキン
15	リリースシステム
16	ラム
17	ラムパッキンシート
18	ラムバックアップリング
19	ラムパッキン
20	ラムパッキン押エ
21	スタップリング
22	スタフィンリング
23	シリンダー O-リング
24	スタップリング
25	補助ネジ Ass'y
26	支 板
27	支板止めリング
28	空気抜栓
29	横ピン
30	縦ピン
31	ラムスプリング
32	ラムスプリング押エ



◆故障と処置

主な故障	原 因	処 置	備 考
ラムが上昇しない	リリースシステムが開いている バルブシール部にゴミまたはキズ付き	リリースシステムを時計回りに回し確実に閉じる サービス工場に修理をご用命下さい	取扱方法参照
最伸長まで上昇しない	作動油の不足または入れ過ぎ	適正油量を給油して下さい	取扱方法参照
ラムが下降する	バルブシール部にゴミまたはキズ付き	サービス工場に修理をご用命下さい	
ラムが自然に上昇する	空気の吸い込み	ラムを最低まで下げ空気抜栓を横に押し空気を抜いて下さい	取扱方法参照
ハンドルがはね上がる	吐出バルブシール不良	サービス工場に修理をご用命下さい	
外部に油が漏れる	オイルタンク上下部、リリースシステムまたはポンプ部のシール不良	サービス工場に修理をご用命下さい	

指定サービスステーション一覧表		
旭機器 旭川工業所	〒070-8346 旭川市忠和6 条7-5-11	☎0166-61-4615
旭機器 工業所	〒003-3907 札幌市白石区菊水7 条1-1-24	☎011-811-8858
旭機器 苫小牧工業所	〒059-1364 苫小牧市沼の端255	☎0144-65-0444
旭機器 帯広工業所	〒086-0047 帯広市西17 条北1 丁目	☎0155-34-6078
北央機械工業所	〒084-0903 釧路市昭和町187-24	☎0154-51-4760
旭信栄機器工業所	〒041-0953 函館市中央2-46-10	☎0138-54-6287
旭東奥ゼーセル	〒030-0151 青森市大字高田字日野167-8	☎0177-39-5566
旭東	〒010-0963 秋田市八橋大沼町11-19	☎0188-62-3426
旭信商	〒028-4300 岩手県岩手郡滝沢字土沢310-95	☎0196-87-3117
旭長瀬ボアリング	〒983-0035 仙台市宮城野区白の出町2-5-10	☎022-239-7644
旭白	〒990-2435 山形市青庄1-1-34	☎0236-42-3442
旭アオヤギ機工	〒310-0841 水戸市西門町字西町4225-1	☎0292-48-2603
旭メカニック	〒328-0025 栃木市仲土止町79-2	☎0282-25-3553
旭関谷油圧	〒274-0054 千葉県船橋市金堀町579-8	☎0475-57-4062
旭土カサ工機	〒369-0100 埼玉県北足立郡吹上 区3347	☎0485-48-1140
旭土屋製作所	〒300-0053 土浦市真徳新町19-9	☎0298-21-0947
旭白川機工	〒381-2234 長野市川中島町今里538-2	☎0262-84-0565
旭白田機工サービス	〒406-0042 山梨市南1316	☎0553-22-9290
旭今井工業所	〒134-0084 東京都江戸川区東葛西5-17-16	☎03-3680-9767
旭太田メカニック	〒143-0026 大田区西馬込1-1-10	☎03-3775-6008
旭森	〒230-0001 横浜市新見区末向4-24-16	☎045-583-5131
旭中央パーツ工業社	〒220-0072 神奈川県横浜市西区浅草町1-10-1	☎045-31-4425
旭長田機械工業	〒933-1131 富山県高岡市浪崎140-2	☎0766-21-3347
旭中山商会	〒916-0019 福井県鯖江市丸町1-1-3	☎0778-51-1193
旭中シフジ	〒924-0002 石川県白山市八田中町198-3	☎0762-76-7444
旭山岡工作所	〒500-8227 岐阜市北一色5-21-27	☎0582-45-4662
旭誠商	〒453-0054 名古屋市中村区鳥居通1-20	☎052-412-3696
旭西川機工サービス	〒519-2142 松江市下郷町296	☎0898-29-2171
旭石上工作所	〒547-0027 大阪市平野区宮津西1-11-1	☎06-6702-4323
旭瀬川商会	〒651-2235 神戸市西区榎谷町長谷	☎078-991-2557
旭神戸エンジニアサービス	〒654-0121 神戸市須磨区妙法寺字大坪128-22	☎078-743-4567
旭機工サービス倉敷	〒712-6005 岡山県倉敷市中政7-3-7	☎086-455-4700
旭星工業所	〒701-C202 岡山市山田188C-41	☎0862-81-0971
旭北陽商事	〒689-5425 鳥取県西伯郡淀江町佐陀	☎0859-56-2621
旭広重工業所	〒733-0006 広島県西区三篠北町4-15	☎082-238-0240
旭井原商会	〒734-0022 広島県南区東豊3-5-11	☎082-282-8189
旭赤アークス	〒790-0056 松山市土居町560	☎0899-71-4417
旭赤松園工作所	〒761-0101 香川県春日町字浜島1308-3	☎0878-41-1439
旭北伴マシンサービス	〒770-0000 徳島市城西4-48	☎0886-25-9101
旭利四国油器	〒780-0814 高知市稲荷町4-13	☎0888-83-0814
旭三信機器サービス	〒870-0941 大分市大字下葉3055-12 下野工業団地	☎0975-69-6568
旭N S S 北九州	〒807-0906 北九州市八幡西区御膳2-1-33	☎093-601-7114
旭エアードサービス	〒815-0001 福岡市南区五一川2-2-2	☎092-501-6310
旭宮崎整備機	〒880-0327 宮崎市源成町2756-5	☎0985-52-3821
旭マサダ製作所営業部	〒197-0315 東京都あきる野市二宮東2-1-1	☎042-559-1113